

すぎのめ 地域包括支援センターだより

令和5年9月発行No 20 発行元: 杉妻地域包括支援センター



太平寺町会盆踊り大会 8月12日 太平寺児童遊園



太平寺町会盆踊り大会が開催され、大盛況のうちに終了しました！



地区の方々が準備～片付けに至るまで、尽力くださいました。この地区を盛り上げたい!という熱い思いに私達も心を動かされました。ありがとうございました！



いきいきももりん体操地域交流会 7月26日 杉妻学習センター



杉妻地域でいきいきももりん体操を毎週取り組んでいる団体、これから開始する団体の計5団体をご参加くださいました。吉井先生からのご講義への反響はもちろん、各団体からの活動報告にも、「他の団体の実情が知る機会となり、自団体での活動にも活かしていきたい」との嬉しい声が聞かれました。



参加した看護学生からは、「地域の各団体で楽しみながらフレイル予防などの活動に取り組んでいること、地域の人々と地域包括支援センターのつながりを知ることができました」との感想をいただきました。今後も包括支援センターは全力で地域に関わっていきます！

ときの人 シリーズ12 特別編 伏拝町内会の有志6名

20年以上続く、「特別なことではない」という地域への思い



伏拝のリサイクル回収を、毎月1回70代の男性方がボランティアで行っています。雨模様の中でも、6人の男性達は朝8時から作業を開始。軽トラック二台で町内の約30カ所の地点から資源ゴミ(段ボール、新聞紙、雑誌、アルミ缶、牛乳パック)を集め、古紙回収業者の丸佐商店まで届けて積み下ろす、という作業を4～5往復程行っています。作業時間は4時間に及ぶことも！

代表の丹治好美様は「20年以上前から町内会で続けてやっている。自分は平成27年からやっているが、特別なことではないと思っている。」と仰っていました。代々引き継がれていく地域への熱意で、雨の日も雪の日も活動は続けられています。



すぎの芽会 ～7月開催の「看取りの研修会」より～

すぎの芽会は、杉妻管内に所在する各居宅介護支援事業所7事業所が集まり、自宅で最後まで自分らしく過ごせるような支援の充実、それを支える基盤等の学習、情報交換を年に4回行っています。今回はふくしま在宅緩和ケア支援事業所主催で開催した「看取りの研修会」について報告させていただきます。



「がん終末期の患者・家族とのコミュニケーション」をテーマに、がん終末期のご本人及びその看取りをする家族とのコミュニケーションの留意点、心に寄り添うべきことを学びました。参加した福島大学の学生さんからは「患者さんや介護する家族の立場になって考え、言葉をかけてあげることが大事だと感じました。」と感想をいただきました。今後も学びを続けていきたいと思えます。